

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

MSW ニュース 12月号

2015年11月30日発行

事務局：大浜第一病院

〒902-8571 那覇市天久 1000 番地

TEL (098) 866 - 5171

FAX (098) 864 - 1874

E-mail t-matayosi@ns.omotokai.jp

編集：小橋川 聡 (牧港中央病院)

友寄 彩

11 月度MSW定例会 平成27年度 宿泊研修

—平成27年度 宿泊研修『面談技術について』—

大浜第二病院 真栄平 結

平成27年度MSW協会宿泊研修が『面接技術について』のテーマのもと11月7日(土)～8日(日)今帰仁村あいあい手づくりファームにて行われました。講師に公立大学法人名桜大学人間健康学部の竹沢昌子上級准教授をお招きし、グループワークを中心に病院も経験年数も違うMSW同士が共に学び合える研修内容となっていました。

一日目はまず、グループで新人の頃に困った内容をそれぞれ書き出し、カテゴリーごとに分類するというワークを行いました。分類できるということは多くの仲間が直面する悩みであり、それは予防、対処することができるはずの悩みであること、予防や対処には同じように悩みを経験する仲間や先輩の存在が大きく、MSW協会の繋がりも大きな助けになることが再確認できました。ワークの後には「患者・家族に寄り添うとは？」というテーマで映画パッチアダムスのワンシーンを鑑賞し、グループでそのシーンを見て感じたことを話し合いました。パッチアダムスの「医師の務めは健康を高めること。死を遅らせることだけでなく、生活の質を高めること」という言葉に対し、MSWの務めとはなにか、改めてしっかりと考える機会となりました。

二日目には、面接のロールプレイを通して家族の気持ちと援助者側の気持ちについて話し合った後、面接場面の逐語録に対し、援助者側がどのような気持ちでその言葉を発したのか、またその言葉はバイステックの7原則に照らし合わせるとどのように考察できるのかというワークを行いました。援助者が自分自身の気持ちや援助内容について振り返ることができ、援助者の面接技術向上のためにとっても有効な方法だと感じました。バイステックの7原則だけでなく、MSWの価値倫理やアプローチ方法に照らし合わせて考えることもできるとのことだったので、実践の中で振り返りを行う際、日々の多忙な業務の中ではなかなか難しいかもしれませんが是非活用したいと感じました。また他職種との連携におけるMSWの役割として、MSWの価値に基づいてどうありたいか、また、他職種と向き合うときにMSWが得意とすることはどのような事か、意見を出し合いました。その後のDVD学習の中で、「MSWはシャンプーに対するリンスのような存在」という言葉があり、私自身、病院の中でそ

CONTENTS

11 月度MSW定例会 宿泊研修について	1～2
運営委員会議事録	3～5
はいさいワーク	5～6
おしらせ (定例会、めだかの学校等)	6～7
コラム・編集後記	7

のような存在でありたいと感じました。

他病院の方とゆっくりと話ができ、懇親会や二次会で親睦を深められるのも宿泊研修の醍醐味だと感じました。病院内では圧倒的に少数派のMSWですが、他の病院が集まればこんなにも力強い仲間や先輩方がたくさんいると実感できる宿泊研修でした。

—宿泊研修に参加して—

勝山病院 漢那望

平成 27 年 11 月 7 日、8 日におこなわれた宿泊研修に参加させていただきました。名桜大学人間健康学部、上級准教授である竹沢昌子先生が講師として来てくださり、面接技術についてというテーマのもとグループワークやロールプレイをおこないました。

一日目は MSW が新人の頃に直面する課題をグループで出し合い、分類分けをし、グループ別で意見を発表しました。悩みは分類できること、多くの仲間が直面すること、予防や対処ができるということを知り、また機能の違う病院で働く MSW の様々な意見や考え方に触れることができました。

二日目は「パッチ・アダムス」のビデオ学習、面接のロールプレイをおこない、MSW に役割を考えるグループワークをおこないました。最後には先輩 MSW からのメッセージを聞くことができ、改めて自分が今後 MSW としてどうあるべきなのかを考えさせられました。

退院支援をおこなっていくうえで、自分がどんな性質を持っているのか、どんな傾向があるのかを再認識し、自分の価値観を理解することが必要だと感じました。今回の研修のように、MSW の仲間が日々感じていること、悩んでいることなどを共有できる場があり私のような新人にとって、とても貴重な機会となりました。このような研修を計画して下さった研修部の皆様、講師の竹沢先生、ありがとうございました。



めだかの学校

日時：平成 27 年 12 月 8 日（火）19：30～

場所：中部徳洲会病院 4 階会議室

内容：事例検討

「退院支援におけるチームの共通理解について（予定）」

事例提供者：新城有紀（南部徳洲会病院）

バイザー：新垣哲治（中部協同病院）



コラム ●ある日の相談室●

7 月初旬、週初めの月曜日に救急搬送されて来た初診患者さんのお話です。

外来師長から「至急、救急処置室まで来て欲しい」と PHS に連絡が入った。今回はどんな患者さんなんだろうかと考えながら救急処置室へ行くと、60 代位の男性 T さんが 1 人救急隊に搬送されて来ていました。意識はあるが会話はままたまならない状態ではあったが、幾つもの質問から分かった事は、独居、家族不明、保険切れという事でした。本人の了解を得て所持品から勤務先が判明、〇〇タクシー会社へ T さんの家族の連絡先を教えて貰えないか問い合わせしてみたが、残念ながら緊急時連絡先は控えていないとの事でした。必要な手続きをし、T さんの状態が回復するのを待ちながら 3 週間程経った連休明けの事です。出勤してみると、看護師から「週末に親戚と名乗る方が来院し、県外に住む妹の連絡先を置いて帰った。連休明けに MSW から連絡させます」と返答したと聞かされました。急ぎ妹さんへ連絡をし、翌日来沖した際の病状把握等の調整を終えた後妹さんへ質問してみました。「県外に住む妹さんへ誰から連絡が来たのですか？」すると、「自分も詳しくは分からないけど親戚の人から電話が来て、びっくりしていますよ。最後に連絡取ったのが約 10 年前でその後、音信不通になっていたのだから皆心配していたんですよ」と仰ってました。探偵を雇った訳でもなく、役所も見つけれられてないのに・・・こんな事があるのか？と思いながら〇〇タクシー会社の専務へ、連絡先が見つかった事の報告をした時、専務から「家族見つかったでしょ、T さんの事が心配でさ～タクシー無線で知り合いがいらないか呼び掛けたわけよ～時間は掛かったけど T さんの親戚が見つかったさ～それで県外に住む兄弟に連絡とれたんだよ～」謎が解けた、そういう事だったのか・・・。

最近、外来受診をした T さんに呼ばれて「やーが写しただろ」と見せられた障害手帳の写真が、挿管され人工呼吸器に繋がれている T さんの写真でした。ご兄弟来沖した際に写した写真で、T さんには失礼ですが思わず笑ってしまいました。「この写真みたいにならないように気をつけるよ、みんなに迷惑かけないようにしないとね」と笑って話す T さんを見ながら、個人情報の取り扱いに気になりつつ、人と人の繋がりを感じました。

☆☆☆編集後記☆☆☆

今年も残り 1 ヶ月となりました。ようやく寒さも増して沖縄にも冬がやってきましたね。私事ですが、11 月に育児休暇から復帰し、復帰初日にふられたお仕事が MSW ニュースの編集でした・・・。

忙しい中、原稿を引き受けてくれた皆様、有難うございました！

よい年末年始をお過ごしください（^o^）

【問い合わせ先】

県立南部医療センター・こども医療センター
地域連携室 新崎／奥平
電話：098-888-0123（代表）

②那覇市立病院（*詳細は、公式HPに掲載中）

募集：1人
雇用期間：平成27年12月1日～平成28年3月31日（更新可）
雇用形態：非常勤（フルタイム）
勤務時間：月～金 8：30～17：15
休日：土日祝祭日、年末年始、慰霊の日
資格：社会福祉士取得者



【問い合わせ先】

那覇市立病院 総合相談センター 樋口
電話：884-5111（内線：127）

—研修部の平成27年12月の予定—

定例会

平成27年12月19日（土）13：30～16：30 受付13：00～

場所：ハートライフ病院 2階講堂（中城村伊集208）

内容：在宅医療を希望する住民を地域資源に繋ぎ広げる多職種研修会

講演 13：30～15：00

速やかで緩やかな「入退院支援・連携デザイン」

～地区医師会在宅医療相談窓口の実際から学ぶ～

「東京都豊島区医師会在宅医療相談窓口の取り組み」

講師：武山ゆかり氏（東京都豊島区医師会在宅医療相談窓口担当）

※事前申し込みが必要です。別紙をご確認ください。

めだかの放課後

日時：平成27年12月17日（木）19：00～21：00

場所：中頭病院 2階会議室（沖縄市知花6-25-5）

内容：①中部地区在宅医療連携ネットワーク研修会の準備

②共同研究について



研修お疲れ様でした！！

—平成27年11月運営委員会議事録—

開催日時：2015（平成27）年11月16日（月）18：45～

出席者：新垣（司会）、樋口、伊禮、新城、望月、奥平、香村、島袋、石郷岡、當銘（記録）

研修部より：望月（ハートライフ病院）、

■11月宿泊研修会アンケート報告（別紙）

■12月定例会

日時：12月19日（土）14：00～17：00

場所：ハートライフ病院 会議室

講師：武山 ゆかり氏（東京都豊島区医師会在宅医療相談窓口担当）

→事前申し込み窓口：安慶名（大浜第二病院）

■めだかの放課後

日時：平成27年11月19日（木）19：00～21：00

場所：中頭病院 2階会議室

内容：①さが大会での学習発表内容の最終確認

②放課後メンバーでの研究企画について

③中部地区医師会研修内容のシュミレーション

④その他

■めだかの学校

日時：12月8日（火）19：30～20：30

内容：事例検討会

事例提供者：新城有紀氏（南部徳洲会病院）

バイザー：新垣哲治氏（中部協同病院）

場所：中部徳洲会病院 4階会議室



■OGSV研修

日時：12月3日（木）19：00～予定

場所：那覇市立病院

■中部地区医師会主催「中部地区在宅医療ネットワーク」への協力

11月12日（木）打ち合わせに望月、泰、香村参加

日時：平成28年1月26日（火）19：00～20：30

場所：NBC

テーマ：ターミナルケアを考える～医療・介護におけるエンディングプラン～

司会進行：泰克之氏（中頭病院）：泰氏にて当日のシナリオ作成済み

→MSW協会へファシリテーターの要請あり

■九州協議会さが大会教育研修部会・会長会合同会議

11月21日（土）樋口、望月、香村参加予定

→今後の中堅者研修会の開催について

現在は九州大会と抱き合わせで行っているが他の研修に参加できないなど課題もある

◇次年度以降の定例会のあり方について

定例会という形ではなく「研修会」としてテーマと対象で整理してはどうか？

広報部：新城（小禄病院）

- ・ 広報紙・・・12月号担当：MSW 小橋川（牧港中央病院）フォロー：平川（中部徳洲会病院）
- ・ 理事会メンバーのメーリングリスト作成済み

社会活動部：代理／當銘

- ・ 健康づくり運動実践活動団体助成事業助成の報告書提出済み
- ・ 県民健康フェア負担金納付済み

事務局：當銘（大浜第一病院）

- ・ 新規入会、退会なし。
- ・ 九州協議会平成27年度会費納付済み



■沖縄県介護企画事業（県高齢者介護福祉課）

「入退院支援連携デザイン事業（案）」・・・平成28年度～30年度（3年事業）予定

・ 事業概要

医療機関から在宅・施設への移行の一連の流れが円滑に行えるような連携/協働体制づくりを図る

・ 事業体制

沖縄県からMSW協会へ委託

→MSW協会ワーキンググループを立ち上げ、県ケアマネ協会、県包括支援センターへも協力を仰ぐ（5医療圏毎）。今年度中にある程度の青写真を作る必要あり。

■九州協議会より義捐金の依頼

口永良部の被災者に対し、沖縄県協会員一人あたり200円の義捐金を寄付する。

→九州協議会さが大会で支払い予定

〈その他〉

◇4団体代表者会議報告（樋口会長）

- ・ 社会福祉公開セミナー：コーディネーター・シンポジストほぼ確定。演題募集状況別紙 当日の役割分担がある予定。実行委員会より声かけがあると思われる。
- ・ 沖縄ソーシャルワーカー協会創立30周年記念講演会の案内
12月12日（土）13：00～15：30 沖縄国際大学7号館2階 参加費1,000円 各協会チケット販売協力依頼あり。

◇第48回公的扶助研究全国セミナー・沖縄大会へ参加要請あり

日時：11月27日（金）～11月29日（日）

場所：宜野湾市民会館、沖縄国際大学

次回理事会：12月21日（月）18：30～司会：又吉 書記：伊禮 連絡係：安慶名

—はいさいワーク NO. 75—

(2015/11/26)

1. MSW 募集情報

① 県立南部医療センター・こども医療センター

募集：1人

雇用形態：嘱託（契約）

勤務時間：月～金 8：30～17：00

休日：土日祝祭日

手当：通勤手当（2km以上）

資格：社会福祉士取得者が望ましい

